

# JAUW 茨城支部だより 2011 年度 4 号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2012 年 2 月 14 日 社団法人 大学女性協会 (JAUW) 茨城支部 発行



「立春」が過ぎたとはいえ、依然として日本列島は豪雪と厳寒が続いています。もう少しの我慢でしょうか。

1 月末の晴寒、紫峰のふもとで、支部新年会が開催され、つくば農水省パキスタン研究生の S さんから自国の女性の現状の話を聞きました。彼女の専門分野「雑草」の研究テーマが畑地の雑草取りに追いやられている多くの女性の低賃金労働からの脱出と学習機会の向上にあることを知り、このような女性のたゆまぬ学際的研究が開発途上国の問題解決につながっていることを目の当たりにした思いでした。

2 月末には一年間の情報発信活動の成果として、ひたちなか市と協働事業『伝えるためのワークショップ』を開催します。ここで得た表現力は下記の 3 月定例会で報告し、さらに会員全員のものとして、次年度出前活動などに生かしていきたいと考えております。

総会のお知らせも入っています。久しぶりに「MY WAY」シリーズとして JAUW と共に歩んでこられた先輩会員の豊かな人生体験を語っていただきます。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。

今朝の報道で偕楽園の梅のつぼみもほころび始めたとか・・・。厳寒に耐え、ひっそりと香りを放つ梅一輪のように支部活動も凛とした力強い歩みを進めてまいりたいものです。 (今高 記)

## 3月定例会のお誘い

楽しく学ぼう!

◆ 日時 : 3月 24 日 (土) 定例会 13:00 ~ 15:00

◆ 場所 : 茨城県立近代美術館 & 会議室

- ・ 午前の部 「小川芋銭展」美術鑑賞 (各自)
- ・ 午後の部 - I プレゼンテーション ステップアップ講座 報告 : 安 久子会員 他

「地域づくりはプレゼンテーションから!」

情報発信 WT のこれまでの取り組みと、実践事例として、2 月 25 日ひたちなか市との協働事業「伝えるためのワークショップ」の報告・成果について話し合いを行います。是非ご参加願います。



◆ 申込み : 3月 15 日までに、同封のハガキでお知らせ下さい。

## 報告 支部新年会 パキスタン交流

平成 24 年度の新年会はパキスタンからの研究生 S さんをお招きして筑波山に近い住宅街のフレンチレストラン・シャロントで開催された。S さんは H23 年 3 月に筑波大学で博士号をとられ、今はつくばの農業研究所で雑草の研究をしている自国農業大学の助教授である。

パキスタンの女性についての卓話は、レジュメも用意していただき興味あるものであった。階層や居住地域により一概には言えないが、女性は男性より教育を受ける機会が制約されており、非識字率が全体で 60% であるが、その 60% を女性が占めているという。女性の 79%、男性の 57.3% が農業に従事しているが女性の労働市場は子育て、通勤などの面で制約や偏見が多く、正規の職業に就くのは難しい。イスラム教は男女平等を否定してはいないが、家父長制など古くからある伝統・習慣が邪魔をしている。DV も多く、教育により低減される。等のことを通訳の松崎さんを通し、知ることが出来た。女性の非識字率についてはもっと高いのではないかという意見も出たが、統計により一様ではないかもしれない。

おいしいお料理と楽しい懇談の後は、近くの北条にある昭和初期の近代和風住宅「矢中邸」を見学した。数十年空き家になり、荒れ果てていた「御殿」が筑波大生を中心とする NPO 法人により再生されており、H23 年に国の登録有形文化財に指定されたもので、ボランティアの方々の努力には頭が下がる思いであった。

水戸からも多くの方々がお見えになり、楽しく、有意義な一日となった。

企画、交渉など全てをアレンジして下さった幅さんに心から感謝したい。

(牧島 記)



### 新年会に思う

美味しい食事をいただき、ゲストスピーカーの話から何かしらの刺激を受ける。今回の S さんのお話もそのような機会となりました。イスラム法は男女の平等を否定するものではないのに、誤った解釈による宗教の教えによって女性が虐げられているという事を初めて知りました。家父長制の強いパキスタンでは男子を大切に、男子には教育を受けさせるが、女子には教育をうけさせない。現在の日本でも僅かではあるが残っている、このような因習的な考えを改めることは難しいでしょう。しかしながら、少しでも多くの女子が教育を受けられるように、また教育の機会均等のために

も、5万人の教師が必要とされているのに1万5千人しかいない、という状況が一日も早く改善されることを願ってやみません。

新年会に続く矢中龍次郎邸の見学ツアー、矢中氏の死後40年も放置されていたにも関わらず、彼が考えた換気システムによって屋敷の中の板戸の絵が鮮やかなまま残っていたのには驚きました。現在のモデルハウスと同じ目的があったとも言われているようですが、昭和28年の日本の建築技術とその水準を見ることができました。見学している間、現代の女性建築家妹島和世氏的设计による日立駅が思い浮かびました。彼女の設計を見に来る若い建築家があります。彼女の建築もこのように後世に残っていくのでしょうか。風邪気味で失礼しようと考えていたのですが、見学して本当に良かったと思います。日本では教育の場所では男女平等が実現しています。しかしまだまだ、女性が男性と平等に責任を分かち合い、活躍できる社会になっていません。その実現を目指していかなければならないと強く感じた1日でした。

(横須賀 記)

## 茨城支部総会のお知らせ

2012年度茨城支部総会を開催いたします。久々にMY WAYの登場です。  
茨城県男女共同参画の取り組みについてのお話もあります。ぜひご参集ください。

**場所**：女性プラザ（男女共同参画支援室）3F会議室  
茨城県水戸市三の丸 1-7-41 029-233-3982

**日時**：平成24年4月21日（土）1:30～3:30

**内容**： 1. 茨城県女性青少年課講話  
2. 2012年度総会  
3. シリーズ企画 MY WAY（鷹野 会員）

駐車場は三の丸庁舎駐車場をご利用ください。

出欠を同封ハガキにてお知らせください。



## 情報発信ワーキングチームからの報告

茨城支部では今年度、情報発信ワーキングチーム（WT）を設置し、会員のITリテラシーの向上と、ひたちなか市「まちづくりセミナー」との協働作業での取り組みを進めてきました。ひたちなか市「市民セミナー実践企画塾」に参加して3回の日程を無事終了。私たちの企画プレゼンテーションが無事採用されました。



チラシは、支部の  
ホームページから  
ダウンロードできます

そこで **実践** 2月25日（土）ひたちなか市で

『伝えるためのワークショップ』を開催します。

企画力をつける・どう伝えるよりどう伝わるかを考える・方法論より相手の気持ちになる、など、目からうろこの気づきが一杯！

皆さんの参加をお待ちしています

・・・思いが伝わる広報物にしよう・・・ （安 記）

## 「ジェンダーの視点から家庭科教育を考える(調査)」

プロジェクトチーム会議報告 ～その3～

前回の支部だよりでは、茨城支部のプロジェクトチーム（以下、PT）第1回、第2回会議についてご報告しました。今回は、本部教育委員会そして他支部との共同状況についてご報告します。

まず昨年10月15日、JAUW全国セミナー（於：国立女性教育会館）の懇親会終了後、本部教育委員会および研究プロジェクト参加の他支部の方々との意見交換会が行われました。夜も遅くなってからの会議にもかかわらず、岡山支部、愛知支部、神奈川支部、栃木支部、茨城支部の総勢20数名による活発な議論が繰り広げられました。そして今年1月7日、京王プラザホテルでの新年会終了後にも再び会議が開かれました。今回も本部の方々、岡山支部、奈良支部、金沢支部、神奈川支部、茨城支部の代表者による議論は白熱し、アンケート内容の詳細な見直しから、具体的なアンケートの配布方法にまで話が及びました。

現在は、各支部の意見をもとに何度も修正を重ねた結果、教育委員長のご尽力もあり、ようやく高校生と大学生対象のアンケートがまとまりました。今後はそのアンケートの配布を全国規模で行う予定であり、同時に教職員に対する調査研究も徐々に進めていく予定です。

なお、次回茨城支部PT会議は、3月を予定しています

（中島 記）

## 2011年 出前講座報告

茨城支部では調査研究の調査結果を行動に繋げていきたいと、2008年度実施「若者の意識調査」の結果から導きだされたデートDVの実態を憂慮し、啓発用小冊子を作成しました。本年はその配布を中心とした啓発広報活動展開の2年目となりました。

### 第1回(9/23) 茨城県女性プラザ 男女共同参画総合講座 シンポジウム パネリスト

「地域力を高めていくために 一若者層への繋いでいくための展開」

### 第2回(11/10) つくば市立k中学校 性教育講演会

「対等なパートナーシップを大切に 一若者に増えているトラブル」

### 第3回(1/19) つくば市「気軽にしゃべりサロン」 「デートDV防止活動に取り組んで思うこと」

#### ■つくば市立K中学校での講座から

男女平等について考え、男女交際における健全なパートナーシップを育むための研修の機会とするとの目的のもとに、全学年230名、保護者6名、教師10名前後が参加しました。準備担当の養護教諭の先生からは、事前アンケート実施などの配慮を頂き、生徒の実態把握に助かりました。支部から城倉が講師として、幅が補助を担当しました。PPを使用した講話(35分間)、DVD視聴(15分間)、生徒退場の後保護者との座談会(30分間)の3部構成で行いました。生徒は熱心に聞き入ってくれましたが、あらかじめ人選を依頼しておいたロールプレイでは、若い教師お二人の熱演もあって盛り上がりました。保護者の参加は少数でしたが、まだまだ先の話と聞いていたが夫と話し合っただけで家族で考えたい、子は帰宅すると何でも話してくれるが5人に一人と聞いてびっくり、まだうちは大丈夫と思っているが、などの感想を頂きました。

終了後の生徒アンケートからは、1年男子：差別やDVはとても悪いことなので、なくしていきたい、とてもよくわかる解説やビデオでよかった、DVのなかには暴力のほかにも言葉やお金に関する事などいろいろあることがわかった、たといやなことであっても、暴力で解決してはいけない。1年女子：DVということが人を傷つけてしまうこと、犯罪だということがわかった、デートDVの意味は何となくわかっていたが、講演でくわしくわかった、イヤなことはイヤとちゃんと言えようにしたい。

2年男子：もしかしたら自分にも思い当たる節があるかもしれないと思った、ケータイがDVに使われていることが衝撃だった。2年女子：「男らしさ、女らしさ」よりも「自分らしさ」が大切だということをととても思った、自分でも経験したことがあってびっくりした、もし好きな人とつきあうことになったら、自分の意見も言い合えるような関係も大切なのだと思う。

3年男子：自分もあんなふうにならないようにしようと思った。暴力をしないために話し合いをちゃんとしたい。3年女子：彼氏彼女の関係だけでなく、普段の生活の中でも思いやりを持って友達や身近な人に接していかなければいけないと思った、「いやなことはいや」とちゃんと言うことが大切だと思った、などの感想がありました。(城倉 記)

## JAUW本部関連事業のお知らせ

皆さまのお手元に届きました「大学女性協会会報244号」に掲載されたとおり、下記ご案内いたします。

第1回定時会員総会 5月12日(土) 祝賀記念コンサート(会場：津田ホール)

5月13日(日) 総会・祝賀会(会場：都市センターホテル)

- 「申込方法」
- ① 3月25日までに、「支部提出用」申込書に記入の上、牧島へ
  - ② 4月6日までに、郵便振替用紙で個人別にお振り込み
  - ③ 都市センターホテル宿泊の場合は、各自ホテルへ申込み

### 大学女性協会 公開講演会

3月29日(木) 10:30~12:30(会場：津田ホール2F)

講師 中島 会員

演題「子育て支援の実践から見える現代の子育て事情」

※ 支部会員の講演会です。是非応援に行きましょう



## 茨城県女性団体連盟事業の報告

### 「女性団体等人材育成セミナー」 2011年11月12日

まず大越連盟会長から、男女があらゆる分野で平等になるために必要なものとして、女性への偏見・慣習を改める(28.3%)、女性自身が経済力をつける(21.1%)などといった調査結果を交えた挨拶があった。

知事公室長 野口氏からは、茨城県では副知事、市長なども女性が就任し、審議会も女性委員の数 31.1%と増加している一方で、政策決定過程の女性の参画は低い。第二次行動計画では、女性自身が社会を引っ張る政策決定過程に参画するなど積極的な姿勢が望まれているとの挨拶があった。

#### 大切な想像力

石田奈緒子 北茨城副市長の講話では、北茨城は震災で死者5名、行方不明1名、関連死3名。家屋8000軒(市内半分)、400億円以上の被害があり、被災直後は20カ所の避難所に5000名を超える人がいたという深刻なもの。また、福島原発から80キロ圏内にある。

震災時石田氏は市役所外にいた。また当日市長は不在、警戒対策本部長としてこの場をまとめないといけない、駐車場に集まった300名の職員を組織立てていかなければならない…怖かったという。災害時のマニュアルも手許になかったし、既存のものでは対応しきれない災害であった。命を救うことが第一。

瓦礫の撤去、道路の整備、トイレの問題、訓練の大切さなど震災時の対応を写真を交えての報告があった。「思いやり」のある行政対応には「想像力」が大切であるという言葉が印象的だった。

#### ワールドカフェの伝道師

船木成記さんは、全員参加型の意識共有の手法のひとつとして『ワールドカフェ』を紹介。ワークショップでの充実感は時間のオーナーシップを取れたかによる。ひとりひとりが中心になって考えている、話している…いい経験だったという思いを残すことができるのがワールドカフェという手法だ。

今回のお題は「茨城を日本一、有名な、魅力的な県にする」というもの。ブランドカ47…どれだけアイデアを出せるか…「茨城を日本のフランスと呼びましょう、遷都しましょう」などなど、楽しいアイデアが出された。

茨城県民のPR力を高めよ!!というのはどの班からも出された。地域TVも必要との声も多かった。語り、他の人の話に耳を傾けることによって刺激され進化していく楽しい時間だった。(井坂 記)

### “古きを訪ねて新しきを知る” 11月15日

石岡の常陸風土記の丘の見学と県畜産センターでのソーセージ作り研修に、牧島さん、加藤さんとともに参加した。

風土記の丘ではボランティアガイドの案内で桜並木の小道を下ると古代大賀ハスの池やボタン園・百合やあじさいの丘など日本古来の四季折々の花が植えられている。それぞれの花の季節は見事なことだろう。最近は「竜神の森」に遊歩道が整備され、散歩や森林浴など多くの人を訪れるという。

古代家屋復元広場には時代を追っていろいろな竪穴式住居が並ぶ。石岡市では1万年以上前の旧石器・縄文時代から弥生時代にいたる数多くの古墳や遺跡が発見され、何千年にわたり代々伝えられてきた竪穴式住居が少しずつ進化・変遷していく様子が体験できる。また常磐道工事中に発掘された遺跡(8~9世紀頃)一部が鹿の子史跡公園に集められている。

そのほか江戸時代の豪商の館から移築した立派な長屋門や曲がり家など、古代から近代までの住居や人々の生活を想像し、たいへん興味深かった。昼食後、畜産センターでソーセージとバター作りに挑戦。和気あいあい、

とても楽しく有意義な研修にお誘いいただき感謝している。ちなみにソーセージもバターも翌朝たいへん美味しくいただきました。(三澤 記)



## 連盟のつどいに参加して

平成24年1月25日(水)、行方市にある茨城県女性プラザ(レイクエコー)において、茨城県女性団体連盟のつどいが開催されました。

今回も大学女性協会茨城支部としてバザーに参加致しました。資金不足のため役員一同が一日掛かりでクッキーを焼き、皆が持ち寄った、土浦の蓮根、ほしいも、その他品々を並べ来場者のご協力を頂きほぼ完売し、参加者一同大喜びしました。



午後から茨城県警察音楽隊の演奏が始まり陽気で楽しく、教え子の演奏に合わせマラカスを振る連盟会員が会場を沸かせました。

この日の講演はチター演奏者で教育者の内藤敏子さんで「生命の尊さを考える」という題でチターを奏でながらご講演をいただきました。チターの演奏を聴くことが初めての方が多かったと思います。先生の演奏されたチターの名曲「我が夢の街ウィーン」が生まれた時代背景から、“音楽が如何に人の心に潤いや希望を与えるか”を話されました。

内藤先生は親交のあったアントンカラスさんから映画「第三の男」に関する多くの未公開資料を託され、著書「激動のウィーン『第三の男』誕生秘話 — チター奏者アントンカラスの生涯」を出版されました。その逸話とチターの旋律は心にしみるものがありました。

チターは野山に咲く花のような細い茎でありながら風雨にも耐えて、真の強さと美しさを感じさせる楽器でした。

( 幡谷 記 )

### ★ 編集後記 ★



茨城支部便り4号 2011年度最終版は 支部活動も活発に行われ連盟関係の報告も多く  
編集に苦労しました。嬉しい悲鳴でしょうか、まだまだ卒園は無理のようです。

編集幼稚園 年中組 (T. H.)